

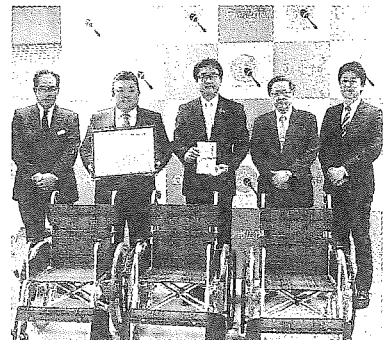
◆宮坂建設工業（宮坂寿文社長）が帯広市に車いす3台（計23万4000円相当）を届けた。社会貢献の一環で、福祉の充実に役立てるため、2008年から、本社のある帯広と支店がある札幌、釧路の3市に毎年3台ずつ寄贈。帯広市に同社が贈った車いすは計27台になった。鉄くずなどの廃棄物を回収する業者のリサイクルポイントを活用し、車いすと交換した。宮坂社長は「今後も寄贈を継続していきたい」と話し、米沢市長から感謝状を受け取った。

れ、米沢則寿市長（同中央に車いす3台（計23万4000円相当）を届けた。社会貢献の一環で、福祉の充実に役立てるため、2008年から、本社のある帯広と支店がある札幌、釧路の3市に毎年3台ずつ寄贈。帯広市に同社が贈った車いすは計27台になった。鉄くずなどの廃棄物を回収する業者のリサイクルポイントを活用し、車いすと交換した。宮坂社長は「今後も寄贈を継続していきたい」と話し、米沢市長から感謝状を受け取った。

寄付

各企業等の社会貢献

帯広市に車いす3台寄贈  
公共施設で有効活用を  
宮坂建設工業一市から感謝状



【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は十六日、地域貢献の一環として、帯広市に車いす3台を寄贈した。写真。宮坂社長らが市役所を訪れ、米沢則寿市長に目録を贈呈。市ではくりりんセンターや高校などの施設で有効活用するとしている。同社では廃品回収業者のリサイクルポイント制度を活用し、貯まったポイントで車いすと交換し、帯広市をはじめ、支店のある札幌市、釧路市に二十年から毎年、三台ずつ寄贈し続けている。

本年度は四月二十二日に釧路市、同月二十七日に札幌市に寄贈しており、今回の帯広市への三台も含める

常務、武山純総務部長が出席。市役所幹部らが見守る中、宮坂社長が米沢市長に目録を贈呈し、米沢市長からは感謝状が贈られた。宮坂社長は「車いすが足りないという声が続くにつれて、継続的に寄贈することが大切だと考えている」と話していた。米沢市長は「毎年、寄贈してもらい、大変ありがた

帯広市に車いす寄贈し福祉に貢献

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は16日、福祉の向上に貢献するため帯広市に車いす3台を寄贈した



写真。同社は、廃品回収のり

サイクルポイント制度を利用して、毎年たまったポイントで得た車いすを帯広市と札幌市、釧路市に3台ずつ贈っている。2008年から継続し、寄贈した車いすは9年目となる今回で計81台。帯広市に贈られた車いすは保健福祉部と農政部、環境・衛生関連清掃事業課などに配置する。この日は、宮坂社長のほか加藤兆基常務、長谷川雅毅常務らが市役所を訪問。米沢則寿市長から感謝状を受け取った宮坂社長は「車いすは消耗品なので、ごこの福祉施設でも不足しがち。これからも継続的に福祉に貢献していきたい」と話していた。